令和４年度　授業改善推進プラン　　第４学年

【指導方法の課題と改善策】

教科	課題	授業改善策	評価
国語	・読んだこと、聞いたことに対して、疑問や自分の考えをもち、相手に分かりやすく伝えること。 ・既習の漢字を積極的に使って文章を書くこと。	・自分の考えと比較しながら話を聞き、差異点や共通点に目を向けて感想や質問を話せるようにする。 ・作文や新聞作りなどで漢字を使えるように、ドリルなどで反復学習を行う。	
社会	・すでにもっている知識や経験と、授業で習った知識をつなぎ合わせて、考えを深めたり広めたりすること。	・単元や授業の冒頭でもっている知識や経験を話し合う機会を設ける。授業で分かったことを元に「なぜ（理由）」や「どうなる（予測）」をする活動に取り組ませる。	
算数	・基本的な四則計算の筆算の定着や基本的な図形の作図をすること。 ・文章問題で問われている内容を理解し、学習した内容を応用できるようにすること。	・筆算の習熟を図る課題に適宜取り組ませる。必要に応じて、数の感覚や空間認識を身に付けられるように個別に指導する。 ・内容を図解してから解く習慣を付けさせる。学習した内容を反復して練習することにより、他に生かす力を伸ばしていく。	
理科	・空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けること。	・課題をもち解決する意義を理解した上で、観察、実験に取り組ませる。活動を通して、結果・考察・まとめを説明（表現）したり、ノートなどにまとめたりできるようにする。	
音楽	・意欲的に取り組むことができるが、知識・技能面で身に付くのに時間がかかること。	・技能と知識をつなげることのできる活動を適宜取り入れ、意欲をもって取り組みながら力を付けていけるようにする。	
図工	・友達の作品に影響を受ける児童が多い。表し方の幅を広げ、自分らしい表現ができること。	・さまざまな技法や表し方を紹介して、自分に合った表現方法を選択できるようにする。様々な題材に出合わせて、表現の選択の幅を広げていく。	
体育	・自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫すること。 ・考えたことを生かして練習したり、友達に伝えたりすること。	・ICT 機器を活用し、自分の動きを客観的に見た上で、改善していく活動を取り入れさせる。 ・友達とアドバイスし合うことで、自己の課題を見付け、課題を解決するために活動を工夫して取り組む。	

＊年度末に、各改善策の達成状況について評価をする。↑